

ちょっと
おさらい

クラウドと インストール型システム 徹底比較



そもそも、クラウドサービスと従来のインストール型システムは
何が違うんですっけ？



日々の業務に関わるポイントで
一般的に言われている違いを見てみるぞ

【システム運用管理】

		インストール型	クラウドサービス
サーバーの運用管理	日々の設定変更、運用監視、バックアップに加え、OS・ミドルウェアの更新等の定期メンテナンス、障害発生時の原因調査、ログ解析、復旧対応など	必要	不要 サーバー自体が要らない
プログラム更新作業	制度改正や税率・料率の改定の都度、頻繁に必要なプログラム更新作業	手動	自動
データバックアップ	日々のデータのバックアップ作業	手動	自動
セキュリティ対策	OSやソフトウェアのセキュリティパッチの適用、ウイルス対策ソフトの更新、不正アクセスの監視、進化し続ける脅威への追従など	必要	不要
バージョンアップ	ソフトウェアのライフサイクルによるバージョンアップやそれに伴うセットアップ・教育などにかかるコスト	必要 サポート終了の都度、必要	不要 サポート終了がない

【利用の利便性】

		インストール型	クラウドサービス
複数名での利用	複数名で利用するために必要な設備やライセンス準備	△ サーバーやネットワーク構築などが必要	○ ライセンスを追加するだけで複数名利用が可能
社外からのアクセス	自宅や遠隔拠点からアクセスする利便性(多様な働き方への対応)	△ VPNやリモートデスクトップサーバーが必要	○ インターネット環境のみでどこからでもアクセスできる
専門家とのデータ共有	税理士や社会保険労務士といった専門家とのリアルタイムなデータ共有	× メールや紙などでデータのやり取りが必要	○ リアルタイムにデータ共有が可能

○=対応できる △=対応できるが準備が必要 ×=対応できない